

あなたが生まれながらに持つ才能、能力は練習の積み重ねでしか開花しない。
(ウサイン・ボルト)

TEAM KONAN

注目! 推薦入試の実際 (学校推薦編)

推薦入試は、私立・国公立ともに一般入試の前に実施されるものであり、学校推薦(中学校長の推薦が必要)と自己推薦(基本的に中学校長の推薦が不要)がありますが、今回は学校推薦についての説明をしていきます。

学校推薦の場合、甲南中学校が定める推薦基準及び志望する高校の推薦要件を満たしている必要があります。希望する場合、まずは甲南中で開かれる「校内推薦委員会」をパスしなければなりません。1学期の学年PTAでも示していますが、推薦基準は以下の通りです。

甲南中学校推薦該当者選考基準(推薦入学出願基準)

※以下のすべての項目に該当する者とする。

- ア 生徒本人が希望している高校・学科・コース等への志願する動機や理由が適切であり、適性等及び興味・関心を有し、確固たる目的をもって、進学の意思が確実なこと
- イ 希望している高校・学科・コース等への推薦要件を満たしていること
- ウ 中学校生活における礼節・生活態度・清掃態度・学習態度が良好であること
- エ 生徒会活動・スポーツ活動・文化活動・奉仕活動、または特定教科において、優れた資質や実績を有する生徒であること
- オ 高等学校における学習や部活動等において模範となることが期待できること
- カ 希望している高校・学科・コース等の教育を受けるにふさわしい学業成績であること
- キ 校長(委員長)が推薦するにふさわしい人物と認めること

公立高等学校の推薦要件

- ア 令和7年3月に本県の中学校を卒業する見込みの者
- イ 当該学科・コース等を志願する動機や理由が適切であると認められる者
- ウ 当該学校・学科・コース等に入学する意志が確実であると認められる者
- エ 当該学校・学科・コース等に対する適性及び興味・関心を有する者
- オ 当該学科・コース等の教育を受けるにふさわしい学業成績である者
- カ 生徒会活動・スポーツ活動・文化活動・奉仕活動等の中のいずれかにおいて、優れた資質や実績を有する者、または特定の教科において優れた能力を有する者

私立高等学校の推薦要件

各私立高等学校の推薦入試の募集要項及び推薦基準を満たす者

推薦入試希望者は、三者相談にて受験意思を担任に伝え、12月初旬に行われる「校内推薦委員会」で左記の基準を満たしているかが話し合われます。この話し合いは3年部の職員のみならず、校長、教頭、各学年主任、生徒指導主任、関係する部活動顧問等多くの職員で慎重に審議し、最終的に校長が決定します。

一般入試とは異なり、試験において学力検査を行わないため、主に中学校3年間での実績が問われます。その実績はさまざまで、甲南中選考基準のエ、公立推薦要件の力のように、「生徒会活動・スポーツ活動等で、優れた資質や実績を有する者、または特定の教科において優れた能力を有する者」でなければなりません。また、私立の推薦要件では、「各学年9教科評定平均が○.○以上」や「3年次の5教科評定合計が□□以上」など、具体的な数値で基準を設ける私立高等学校もあります。なおかつ、中学校生活におけるさまざまな態度が他の模範となるような生徒であることが求められます。学校推薦は甲南中学校から「この生徒なら大丈夫!」というお墨付きをもらうこと。普段の学校生活(あいさつ、身なり、学級活動、提出物、授業態度etc...)がしっかりできていないと、校内推薦委員会での承認は難しいと思ってください。

校内推薦委員会をパスしたあとは、推薦入試に向けた準備(作文や面接練習)をしていきます。万が一推薦入試が不合格だった場合は、一般入試を受けなければならないので、受験勉強と両立しながら推薦入試対策を練ることになります。(非常に大変です。)

「推薦入試は学力検査がないから、勉強せずに合格をもらえる。ラッキー!」という受験生をよく見ます。自分の今までの実績を活かして高等学校から合格をもらうのは素晴らしいことですが、高校生活の3年間、背中に「推薦合格者」という大きく重たい看板を背負うことになります。学校推薦を考えている生徒は、その自覚と覚悟を持って申し出・受験をするようにしてください。

私立高校一般入試まで

公立高校一般入試まで

79 日

119 日